



医学講義 1「上部消化管内視鏡診療におけるパラダイムシフト」
斗南病院 消化器内科 消化器病センター長/科長 住吉 徹哉 先生

札幌医科大学医学部をご卒業後、道内の関連病院で勤務された後に国立がんセンター中央病院での研鑽を積み、2002年に現職である斗南病院へ凱旋されました。専門は上部消化管の診断と治療で、特にESDを得意とし、北海道各地から患者が訪れます。北海道ESD研究会/ライブでは皆さんご存じの住吉先生に、上部消化管の治療の基礎から最先端治療までの講義を担当していただきます。

医学講義 2「胆膵内視鏡検査と治療、胆膵疾患にも触れて」
イムス札幌消化器中央総合病院 消化器内科 医長 野村 友祐 先生

札幌医科大学医学部をご卒業後、砂川市立病院で研修を積み、2015年より現職に就かれました。主として胆膵分野を担当され、ERCP関連手技・EUS関連手技などの治療にあたっています。北海道を代表する検査・治療数を行っており、ERCP・EUSの基礎から高難度治療まで幅広く解説していただきます。



医学講義 3「大腸内視鏡検査と治療」
札幌医科大学医学部 消化器内科学講座 講師 吉井 新二 先生

札幌医科大学医学部をご卒業後、札幌を中心とした病院で研鑽を積み、2019年より現在の札幌医科大学附属病院にご勤務されています。2016年からは大園組の一員として海外の学会やライブと活躍しています。特に早期大腸がんの研究や診断・治療に重点をおかれ、数々の賞を受賞されています。大腸の拡大診断について様々な分類がありますが、この講義を聴けば理解できること間違いなしでしょう。治療も基礎から最先端まで幅広くご講演いただきます。



技師講演「大腸内視鏡用手圧迫法を基礎から学ぼう」
池田病院（静岡県） 大内 紀寿 先生

元日本消化器内視鏡技師会の評議員で東海支部長としてご活躍されました。日総研のセミナー講師も長年務められ、中でも「大腸内視鏡検査・看護・腹部用手圧迫の実践」は高評でその人気は絶大なものです。現在は「看護師さんの応援団」株式会社アシストラニング・看護セミナー「内視鏡看護の厳選ポイント」講師、日々の業務と講師として多忙な先生です。何度聴いてもやっぱり聴きたい用手圧迫法について、今回は静岡から直接現地入りしての貴重な講演をお願いしております。

